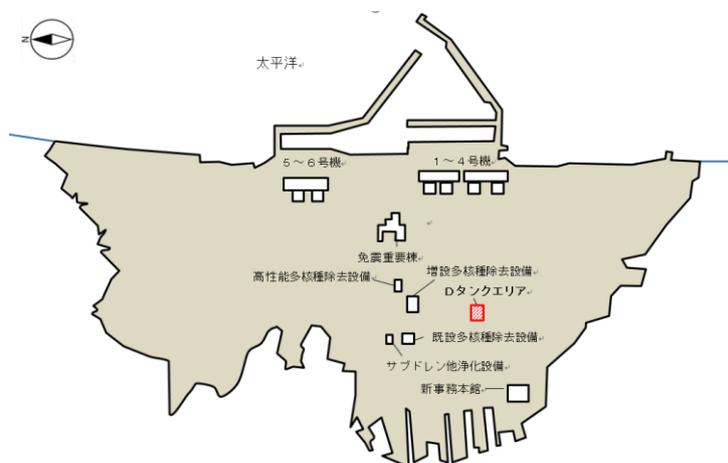


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和3年7月16日（金）
- 2 確認箇所  
Dタンクエリア
- 3 確認項目  
33.5m盤への地震計の設置状況
- 4 確認結果の概要

令和3年2月13日の福島県沖を震源とする地震では、33.5m盤上に設置されているALPS処理水を貯蔵しているタンクに滑動（位置ずれ）が生じ、タンク同士を連結している連結管の一部にメーカーが想定する以上のずれが生じた。これらを踏まえ、東京電力では33.5m盤上の各種設備の健全性評価や知見の拡充等を目的として33.5m盤エリアに地震計を設置し、地震観測を実施することとしており、今回、その状況を確認した。併せて、Dタンクエリアにおける滑動とその後の対応状況も確認した。（図1）

- ・Dタンクエリアの北西側、雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニットの基礎上に、ソーラーパネルによって給電される地震計が新しく設置されていた。（写真1）
- ・Dタンクエリアの位置ずれしたタンク周辺では、前回確認時と同様、堰床面の被覆膜の剥離や、雨樋配管の破損が見られた。破損した雨樋配管には足場が組まれており、修繕の準備がされていたものもあった。（写真2）
- ・東京電力によると、他に、Dタンクエリア南東側、K4タンクエリア、H4北タンクエリアにおいても地震計の設置が予定されているとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 地震計の設置状況



(写真1-2) 地震計が設置されている雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット



(写真2-1) 床面被覆の剥離状況



(写真2-2) 雨樋配管破損の修理準備状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。